

平成 19 年 11 月 12 日

各 位

大阪府泉北郡忠岡町新浜 2 丁目 9 番 10 号
会 社 名 株式会社 カワサキ
代表者名 代表取締役社長 川崎 治
(コード番号 3 0 4 5 大証第二部)
問合せ先 取締役管理部長 大下 実
TEL : (072) - 439 - 8011

(訂正)平成 19 年 8 月期 決算短信の一部訂正に関するお知らせ

平成 19 年 10 月 15 日に発表いたしました「平成 19 年 8 月期 決算短信」の記載内容に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

訂正箇所は下線で表示しております。

1. 4 ページ ⑤次期の見通し

(訂正前)

⑤次期の見通し

今後の見通しにつきましては、景気は緩やかな回復傾向を維持するものと思われませんが、原油や原材料の高騰など引き続き不透明な状況が続く見通しであります。こうした状況の中、服飾事業におきましては、直営店の新規出店を図り、関東圏の営業力強化と販売チャネル拡大等の施策の推進をいたします。賃貸・倉庫事業におきましては、収益性、市場性を充分考慮しながら投資効率の良い賃貸物件の取得を図り、収益の拡大に努めてまいります。次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高 2,492,683 千円 (前年同期比 11.6%の増加)、営業利益 448,615 千円 (前年同期比 48.3%の増加)、経常利益 493,615 千円 (前年同期比 79.9%の増加)、当期純利益 306,015 千円 (前年同期比 37.5%の減少) を見込んでおります。

(訂正後)

⑤次期の見通し

今後の見通しにつきましては、景気は緩やかな回復傾向を維持するものと思われませんが、原油や原材料の高騰など引き続き不透明な状況が続く見通しであります。こうした状況の中、服飾事業におきましては、直営店の新規出店を図り、関東圏の営業力強化と販売チャネル拡大等の施策の推進をいたします。賃貸・倉庫事業におきましては、収益性、市場性を充分考慮しながら投資効率の良い賃貸物件の取得を図り、収益の拡大に努めてまいります。次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高 2,942,683 千円 (前年同期比 11.6%の増加)、営業利益 448,615 千円 (前年同期比 48.3%の増加)、経常利益 493,615 千円 (前年同期比 79.9%の増加)、当期純利益 306,015 千円 (前年同期比 37.5%の減少) を見込んでおります。

2. 20 ページ (表示方法の変更)

(訂正前)

(表示方法の変更)

| 前事業年度 (自 平成17年9月1日 至 平成18年8月31日) | 当事業年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日) |
|--|--|
| (連結損益計算書) 前連結会計年度まで区分掲記しておりました営業外費用の「固定資産除却損」(当連結会計年度は240千円)は当連結会計年度において営業外費用の総額の100分の10以下となったため、営業外費用の「その他」に含めて表示しております。 | ————— |

(訂正後)

(表示方法の変更)

| 前連結会計年度 (自 平成17年9月1日 至 平成18年8月31日) | 当連結会計年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日) |
|--|--|
| (連結損益計算書) 前連結会計年度まで区分掲記しておりました営業外費用の「固定資産除却損」(当連結会計年度は240千円)は当連結会計年度において営業外費用の総額の100分の10以下となったため、営業外費用の「その他」に含めて表示しております。 | ————— |

以上